

4-1-7-5 臨床心理

1. 概要

1.1 臨床心理の業務

臨床心理では、こころの診療部およびその他からの依頼で、心理検査、心理面接を行っている。心理検査には、発達検査、知能検査、投影法検査などが含まれ、心理面接には発達相談、子どもへの遊戯療法、家族や学校などとの連携が含まれる。

1.2 臨床心理の体制

臨床心理は、常勤心理士2名、非常勤心理士2名で対応しているが、需要が多く、依頼を受けてから診療までに1-2ヶ月かかることもある。また、何とか依頼に答えるために、時間外の業務も多くなり、心理士自身のメンタルヘルスに関しても、今後の大きな課題である。

2. 診療活動

2.1 本年度の診療内容

本年度の年間診療件数は2,249件であった。そのうち、1,033件(45.9%)は心理検査、1,216件(54.1%)は心理面接であった。

| | |
|------|----------------|
| 件数内訳 | 2,249 |
| 検査 | 1,033 (45.9%) |
| 面接 | 1,216 (54.1%) |

外来・入院の割合は共に95%前後を外来で占めている。

| | |
|---------|--------------|
| 外来・入院割合 | [検査] |
| 外来 | 979 (94.8%) |
| 入院 | 54 (5.2%) |

| | |
|---------|---------------|
| 外来・入院割合 | [面接] |
| 外来 | 1169 (96.1%) |
| 入院 | 47 (3.9%) |

検査は1,198(90.6%)で発達・知能検査を行っている。

| | |
|---------|----------------|
| 検査内訳 | 1,322 |
| 発達・知能検査 | 1,198 (90.6%) |
| 人格検査 | 16 (1.2%) |
| その他の検査 | 108 (8.2%) |

1件につき複数の検査を行うため件数内訳の合計とは異なる

2.2 依頼科

こころの診療部以外の科から依頼は 281 件(39.4%)となっている。その中でも神経内科からの依頼が最も多い。

| 依頼科内訳 | 712 |
|--------|---------------|
| 発達心理科 | 383 (53.8%) |
| 思春期心理科 | 36 (5.1%) |
| 育児心理科 | 12 (1.7%) |
| 神経内科 | 240 (33.7%) |
| リハ科 | 20 (2.8%) |
| 総合診療部 | 7 (1.0%) |
| 内分泌科 | 6 (0.8%) |
| 脳神経外科 | 6 (0.8%) |
| アレルギー科 | 2 (0.3%) |